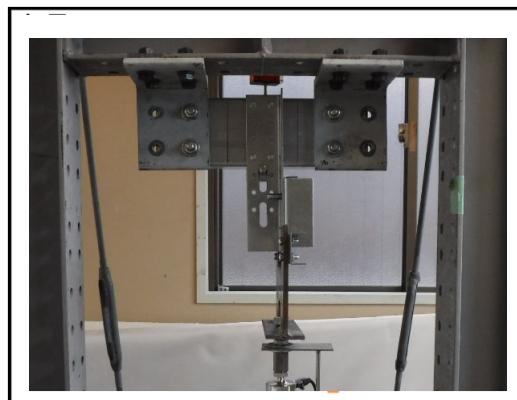
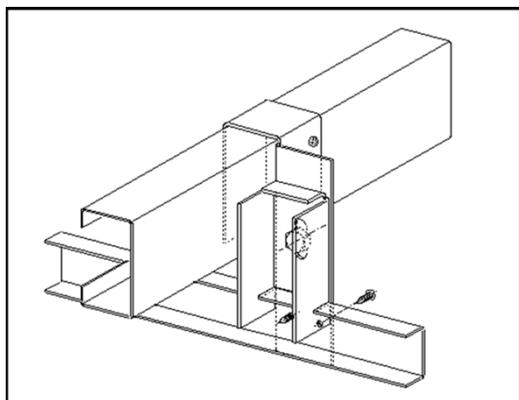


# 試験成績書



試験部材 : KIRII アンダルクランプ L100 (C100用)

試験項目 : 鉛直方向

株式会社 桐井製作所

開発部 開発グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキヨウサウスタワー5階

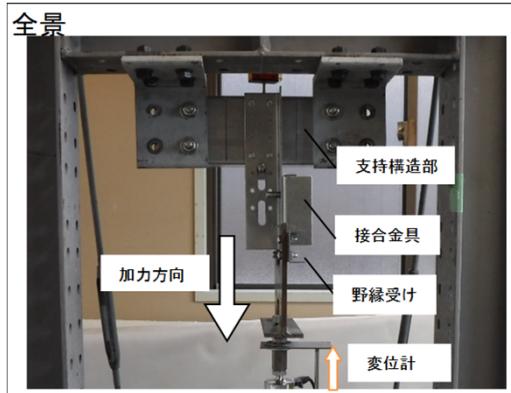
Tel: 03-4345-6005

Fax: 03-6895-0220

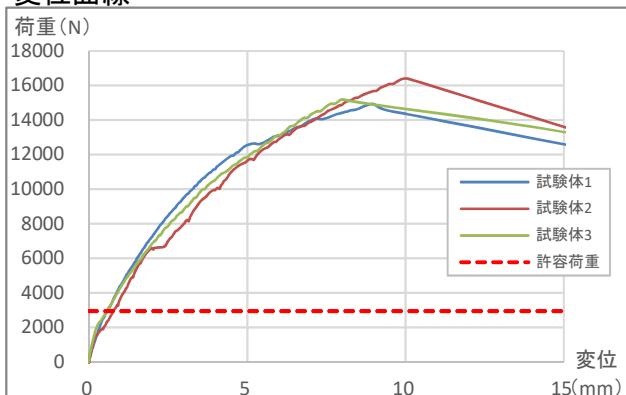
検印	作成
下氏	稻毛

## ◇ 試験概要

品名	: KIRIIアングルクランプL100(C100用)
試験項目	: 鉛直方向引張
試験機	: 加力機:理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー(MD05-200)、荷重計・変位計:株東京測器研究所製(TCLA-20KNB・SDP-200D)
試験速度	: -
試験体寸法	: 300mmx300mm
使用部材	: 支持構造部 : C-100×50×20×1.6 接合金具 : KIRIIアングルクランプL100(C100用) 野縁受け : C-40×20×1.6
試験方法	: 試験架台に支持構造部をボルト4本で固定し、接合金具により支持構造部と野縁受けを接合し、調整可能長さを最大にして、Φ5.5×25ビス4本、Φ4×16ビス3本で固定する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直下向きに引張加力した際の荷重と変位を計測する。
評価方法	: 試験体1、2、3の第1ピーク荷重のうち、最小値に安全率(2/3) <sup>3</sup> を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。



## ◇ 荷重-変位曲線



## ◇ 試験結果

	第1ピーク荷重	第1ピーク荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	14918.2	9.01	Φ4ビス、Φ5ビスの破断、野縁受けフランジ部の変形、接合金具の切込み部の変形
試験体2	16405.3	9.94	
試験体3	15186.3	8.02	
平均値	15503.2	8.99	
最大値	16405.3	9.94	
最小値	14918.2	8.02	



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 = 14918.2 \times 8 \div 27 = 4420 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 \times (2/3) = 14918.2 \times 16 \div 81 = 2946 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \text{許容荷重} = 2940 \text{ N}$$

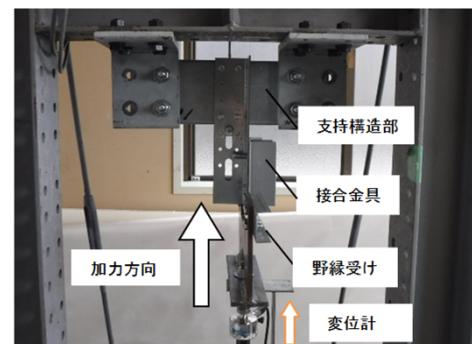
試験日 : 2020/8/26  
試験者 : 中田

検印	作成
下氏	稻毛

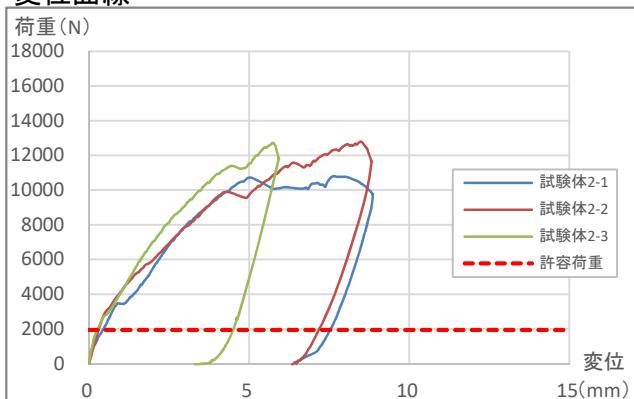
## ◇ 試験概要

品名	:	KIRIIアングルクランプL100(C100用)
試験項目	:	鉛直方向圧縮
試験機	:	加力機:理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー(MD05-200)、荷重計・変位計:株東京測器研究所製(TCLA-20KNB・SDP-200D)
試験速度	:	-
試験体寸法	:	300mmx300mm
使用部材	:	支持構造部 : C-100×50×20×1.6 接合金具 : KIRIIアングルクランプL100(C100用) 野縁受け : C-40×20×1.6
試験方法	:	試験架台に支持構造部をボルト4本で固定し、接合金具により支持構造部と野縁受けを接合し、調整可能長さを最大にして、Φ5.5×25ビス4本、Φ4×16ビス3本で固定する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直上向きに圧縮加力した際の荷重と変位を計測する。
評価方法	:	試験体1、2、3の第1ピーク荷重のうち、最小値に安全率(2/3) <sup>3</sup> を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

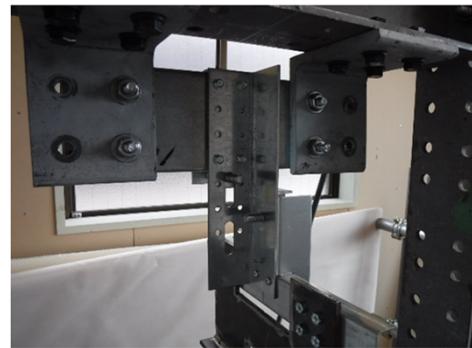
全景



## ◇ 荷重-変位曲線



加力部



## ◇ 試験結果

	第1ピーク 荷重	第1ピーク 荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	10708.9	5.10	接合金具のアン グル部分の変形
試験体2	9879.6	4.39	
試験体3	11395.3	4.42	
平均値	10661.3	4.64	
最大値	11395.3	5.10	
最小値	9879.6	4.39	

終局状況



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 = 9879.6 \times 8 \div 27 = 2927 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 \times (2/3) = 9879.6 \times 16 \div 81 = 1951 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \text{許容荷重} = 1950 \text{ N}$$

試験日 : 2020/8/27  
試験者 : 中田